



令和2年7月豪雨

ななせダムの洪水貯留による七瀬川水位低減

梅雨前線に伴う豪雨によりダム上流域において**333mm** (7月5日17時～8日8時)の累加雨量を観測しました。

ななせダムは現在本格運用前の試験湛水中ですが、洪水の一部を貯水池に貯留したことにより、ダムより下流の河川の水位を低下させる効果を発揮しました。

👉 約537万m³貯留

降雨前EL170.58mだった貯水位は降雨後EL179.84mまで上昇し、約537万m³の洪水を一時的に貯留しました。

※福岡PayPayドーム約3杯分



👉 約0.6mの水位低減
(胡麻鶴地点)

ダム下流の七瀬川：胡麻鶴水位観測所（大分市大字廻栖野）地点での最高水位は2.93m。ダムでの貯留がない場合の推定水位は3.53mとなり、ダムの洪水調節により約0.6m水位を低下したことになります。

※本資料の数値は速報値であるため、今後の調査等により変更となる可能性があります。

のつはる湖 貯水位の変化



ななせダムの洪水調節

最大流入時のダムの調節量
約198.0m³/秒 (=①-②)
少なくなって流れていた。

②下流の河川へ
流れた水量：17m³/秒
(7月8日1時)

①ダムへ流れてきた
最大の流入量：215m³/秒
(7月8日1時)

最高貯水位：EL179.84m
(7月8日8時00分)

約9.3m上昇

常時満水位：EL176.40m

約537万m³
洪水を貯留。

降雨前の貯水位：EL170.58m
(7月5日17時30分)

ななせダム



NanaseDam view



7.8 wed - 10:00

👉 自然調節方式による洪水調節

前線や台風によりダムに流れ込む水量が増えた時は洪水の一部を貯める洪水調節を行います。ななせダムは**自然調節方式**で洪水吐から放流します。

※**自然調節方式**：洪水時にゲート操作を行わず、ダムの貯水位の変化により自然と放流量が変化しながら洪水を調節する方式。

5日からの豪雨で放流口の水位＝常時満水位 EL176.4m＝を超えたため、常用洪水吐から放流する光景が。また雨が上がった後の晴れ間には穏やかなのつはる湖の湖面へ映る美しい、まんじゅう山を見ることができました。



知るダム ダム諸量値情報



ななせダム管理庁舎のホームページTOPにある『ダム諸量値情報』は10分おきに更新されており、ななせダムの最新情報を知ることが出来ます。

① 流域平均雨量 >>>

ダム上流に設置された雨量観測所

で計測された雨量の平均値です。

② 貯水率 >>>

利水容量(810万m³)に対する貯水率です。※洪水のための容量は除く

③ 貯水位 >>>

ダムに貯められている水の高さで通常時の水位(常時満水位)はEL176.4mで、これを超えると常用洪水吐からの放流が行われています。

ダム諸量値情報

観測時刻 **2020/07/14 13:00**

① 大分川ダム流域平均雨量

0.0 mm/H

全流入量
13.75m³/s

全放流量
12.62m³/s

大分川
ダム

有効貯水量
9170 千m³

② 貯水率 100.0 %

③ 貯水位 177.33 m

